

福岡バースティン通信

2016①☆立春号☆



いつも..
ありがとうございます。
今年もよろしく
お願いいたします。



記事お問い合わせ

福岡市南区長住二丁目 9-1
(有) ユーオン芸育社内
FAX092-551-7025
バースティン研究会 in 福岡
福本幸子
u-on@har.bbiiq.jp

♪福岡バースティン研究会

- ・3/11(金)10:30-12:00
- ・4/15(金)10:30-12:00
- ・5/13(金) 10:30-12:00

ユーオン芸育社で要参加連絡

- ♪福岡バースティン講座 1/13(水)12回シリーズ講座⑪
- ♪石黒加須美先生ブルグミュラー講座①2/2(火)ハピオホール大練習室
- ♪福岡バースティン講座 2/10(水)12回シリーズ講座⑫

2016年これからの講座のご案内・・

- ♪藤原亜津子先生講座 2016①2/19(金)②6/17(金)③9/30(金)④11/25(金)ハピオホール大練習室
- ♪杉谷昭子先生講座 2/16
- ♪バースティンフォーラム東京 2/29(日)
- ♪福岡バースティン講座 3/9(水)12回シリーズ講座①
- ♪第27回バースティンソロズコンサート 3/20(日)さざんぴあ多目的ホール
- ♪3/20(日)さざんぴあ多目的ホール 18:00

石黒美有先生 ピティナ課題曲セミナー開催

- ♪筑紫スマイル 石黒加須美先生 ステップ説明会 ピアノを習う大事
- ♪石黒加須美先生 おんがくのーと講座①4/13 ・②5/11
- ♪水谷稚佳子先生フィンガートレーニング講 4/28(木) ハピオ中練習室 2
- ♪石黒加須美先生ブルグミュラー講座②6/9 ハピオホール中練習室 2
- ♪藤原亜津子先生講座 2016②6/17(金) ハピオホール
- ♪博多南ステップ 6/18 アクロス円形ホール アドバイザー-藤原亜津子先生
- ♪後藤ミカ先生講座 2016①6/20(火) ハピオホール
- ♪筑紫スマイル 7/24 アドバイザー春畑セロリ先生他 2名
- ♪7/25 春畑セロリ先生講座 カワイ大宰府

- ♪藤原亜津子先生講座 2016③9/30(金) 会場未定
- ♪博多南 室内楽研修 11/5-より
- ♪博多南 ステップ 11/12.13 アミカス 多喜靖美先生
- ♪藤原亜津子先生講座 2016④11/25(金)会場未定

詳しくは同封チラシか HP をご覧下さい。
新しい方にもお気軽にご参加していただけます。

参加 申込書や通信はホームページのメールかファックスで

申込書 092-551-7025 ↓

講座はいずれも定員があります。ご予約いただけますと入場確認できて安心です。

☆参加日	年	月	日	講座名 ()	申込日 /
氏名・住所						
TEL/FAX						
通信						

♪ セミナー ♪ 『石黒先生講座に参加して』 石川貴美先生

「ブルグミュラー」小さいころから、当たり前にはそばにあり、おとなになっても当たり前には弾いて、楽しんでいました。

「ふつうに」自分が弾き「ふつうに」生徒さんに弾かせて、「ふつうに」教えていました。

けれども、この「ふつう」どうやら、石黒先生の「ふつう」とはずいぶん違っていたようなのです。

講座の内容は、一つ一つ、納得のいくもので、確かに、確かに…と頷きっぱなし。

と、自分を振り返り、そんなに細やかに、生徒さんに伝えていただろうか…??

否。否。否……(冷や汗)

「おんがくのひと」を使いながら、「見る」「書く」「さわる」ことで、より理解を深めていく。曲の骨格のひとつひとつを「きちっとわかる」ということ。「い音」の説明をされたときの石黒先生のチャーミングな表情。きっと生徒さんなら一発で、印象に残るはず。音階の音…耳をすませて…「どっちに行きたがってる？」聴くことの大事さ。

生徒さんに質問するときは「すぐに答えられる質問を」答える側よりも質問する側の力量が問われます。などなど… 感心したり、反省したり、うなったり、黙ったり…。たくさんのことを考えならの講座でした。

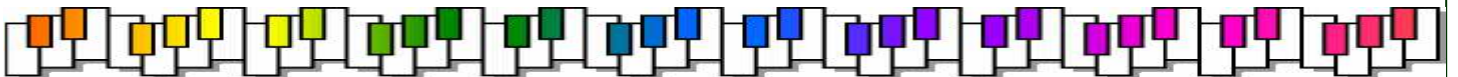
いつも私のそばにずっとあったブルグミュラー。ほこりをはらい、ページを整えてピカピカに磨いて、こどもたちに渡せるように。

そして、いっしょにたくさんの宝物を

見つけられるように、次回もまた、楽しみです。

(思わぬことで、DVD補講することになりました。DVDがあつて、ありがたいです。)

…いつも、DVDを撮影してくださっている貴美先生が…DVDのありがたさを実感していただき…素晴らしいです。これからも毛よろしく願いいたします。石黒戦線の講座は2016年10回を目指します。



♪ ピアノの先生日記 ♪ 『バスティンを学びながらの子育て』 志牟田礼子先生

私がバスティンに出会って5年になります。その前は導入期の子供達にどんなレッスンが良いのか迷いながら一人思考錯誤の毎日でした。前から気になっていたバスティンメソッド。藤原亜津子先生の講座を見つけて受講したのが始まりです。初めての講座で大きな感銘を受けて夢中になって話を聞きました。今まで色々な教材をジブシーのように買っては思考錯誤しながら試しに使っていましたがバスティンメソッドの勉強を始めからは、小さな子供達に何が大切なのか一本の道が見えてきました。そしてバスティン研究会に入り、仲間と学べる幸せを知りました!!

生徒と共にリズム読み、上がり下がり、下真ん中上初心に戻り声に出しながらのレッスンなど私も指導が楽しくなり、しばらくすると子供達も楽譜の読む事、ピアノが弾ける事が楽しいと感じていると実感いたしました。

昨年6月30日、息子を出産しました。2ヶ月休みましたが、3ヶ月になると息子連れで学びを再開しました。

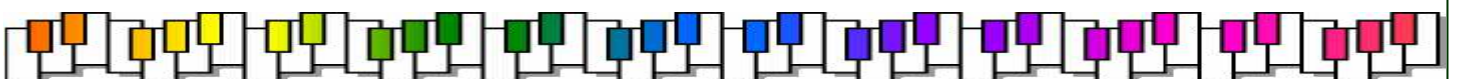
出産を経験して、立場が変わると母親として幼い我が子を愛しく想う気持ち、成長していく喜びを知りました。

それは生徒達やそのご両親にとっても同じ気持ちであった事も感じる事が出来るようになり、小さな進歩を大喜びしたり、時期をみて見守ってあげたり、以前よりグッと愛情深くなったと思います。成長と共に状況も変化していきますが、出来る範囲で歩み続けようと思います。ピアノが好き?と、クエスチョンで思っただけのレッスンに来てくれた子でも…音楽が大好きになって、いきいきと学び演奏する喜びを共に分かち合えるように…そうなりたいと思います。

そして息子にもバスティンメソッドとの出会いをプレゼントしたいです。

一緒に学べる日がくるのを楽しみに子育てしながらのバスティンライフ始まったばかりです(*^_^*)

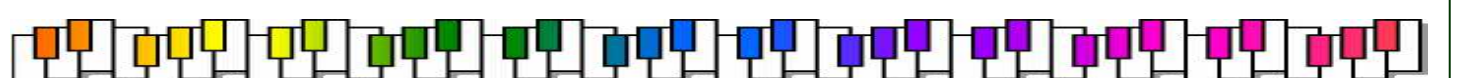
これからも親子ともども、よろしく願いいたします(*^_^*)



フィンガートレーニング…水谷稚佳子先生。魔法の質問講師など、楽しさの中で学ぶスペシャリスト。

ハピトレ…ハッピーな指体操と一緒に体験してください。お待ちしております。 4/28パピオビールーム中練習室2

指づくりは、日々のこと…それぞれ個人的なアプローチが必要ですが、まずチェックできるように…>(*´▽`*)



ミンミン検定 in 福岡 「プレリーディング・基礎検定の内容」 です。チャレンジして基礎グレードアップして下さい。

12 調を知る。…その基礎は、プレリーディング曲 14 曲が課題曲、スケール・長調・短調(セリフ付き)で。アルペジオ長短・カデンツと…。小さな挑戦ですが大きな一歩だと思いました。大きな澄んだ声でせりふを言いながら 12 調のスケールを弾く後姿に次なる姿が見えました。12 調のいろいろに取り組む毎回のこの検定の関わりの中で レッソンの整理や確認…ステップアップの機会をもつことの素晴らしさを実感しています。次回 4/29 月予定。どうぞご参加ください。..ご参加の先生で 検定審査員・開催補助したいかた方お知らせください。

2016 ブルグミュラーコンクール開催致します。

わくわく・楽しみに待つコンクール福岡開催。

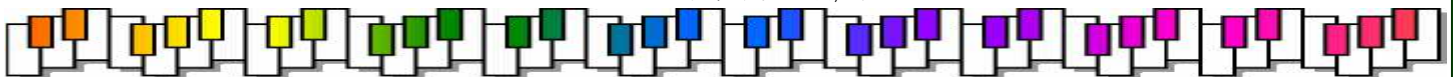
全力を尽くして、音楽を愛する心育みます。

応援、よろしくお願いたします。(* ^ ▽ ^ *)

糸島 9/18 筑豊 9/22 筑紫 10/1 (土) 北九州 10/9 (日) 福岡 10/16 (日)



ファイナル 11/27

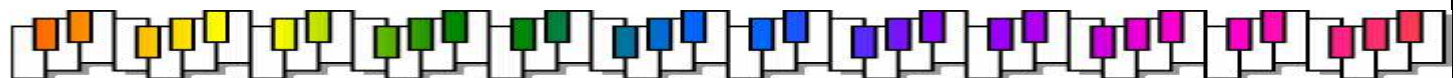


♪ セミナー… ♪ 『福本先生・バステインで学ぶ、発達心理学講座』 三善京子先生

日々、生徒さんや我が子と接する中、漠然と捉えていた「発達心理学」。もっと知りたかったところにこのタイトルの講座発見!! 1年間通わせていただきました♪人間の持つ五感の認識や、無意識な部分をいかに認識させていくか。また、教材の内容とリンクして、言葉の使い方やグッズを活用しながら、どうアプローチしていくか等、ここに書ききれませんが、どの内容も曖昧に心にあったものが、しっかり形になって見えて、感激しました!

ピアノを弾く為に必要な事は沢山ありますが、同時に「人」を知ることは、本当に大切だと痛感しました。

目の前の子どもは、常に変化していきますが、私自身も柔軟に変化していけるよう、もっともっと勉強させていただきます♪これからどうぞよろしくお願い致します! ♪♪



♪ コンサート ♪ 『ピアノの名曲 123 曲。2017 年までにあなたはどれだけ聴けますか?』 由川千恵先生

2017 年「音の旅」ゴールに向けて演奏にますます磨きがかかり、まさしく北島康介の「何も言えねえ」状態です。2/7の日本フィルとのラフマニノフを聞かれましたか?冒頭から鳥肌が立ち涙が何度もこぼれました。小山さんも感極まったか指先を離すとまっすぐに指揮者下野さんとハグ。拍手が鳴りやみませんでした。芸大卒業演奏で初めて弾いて以来 70 回も 80 回も弾いたラフマニノフ…。たおやかで力強く新たな感動を紡ぎ出します。この日フィル九州公演(福岡・長崎・佐賀・宮崎)の合間に大阪で「皇帝」。とにかく凄いんです。

小山さん自身によるこの壮大なプロジェクト「音の旅」のは5/15(日)14時から。24分の21回目は ~未来の扉を開いて~ (イメージカラーはこげ茶:大地・地球・力強さと大きさ)。ヘンデルの変奏曲と初登場のバルトークのソナタ。3年間の完全な沈黙の後に書かれた彼の後期へ移行する最初の曲。民族性を意識した作風から絶対音楽へと向かっていきます。そして『ハンマークラヴィーア』。この大作は当時の最新のピアノを贈られたベートーヴェンがその可能性に触発され楽器の限界までを駆使した作品です。強い意志と情熱が伝わります。ここから最終回までベートーヴェン後期の大ソナタ(29~32番)が続きます。



小山さん、ロシアものやショパンと思われがちですが、ベートーベンとバッハが大好き。楽譜はいつも手の届くところにあるそうです。ハ長調で始まりハ長調で終わるこの「音の旅」。1オクターブ12音。長調と短調で24。黙っていても12が終わったら次の12へと続きます。Cで始まりCで終わりまたCから始まる。人の輪廻、未来の可能性を感じますと小山さん。同世代の私達(笑)もぜひ最後まで一緒に感動の旅を!!とみなさんをお誘いしたいです。

